

1 右の年表を見て、次の各問いに答えなさい。

(1) ( ) にあてはまることばを、それぞれ答えなさい。

(2) ←→ の時代を何といいますか。

(3) 下線部の人物が全国につくらせたものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

(4) 年表中のころにつくられた歴史の本は『古事記』ともう1つは何ですか。

年	できごと
710	( ① ) 京がつけられる
724	<u>聖武天皇</u> が即位する
752	( ② ) 寺の大仏が完成する
784	都が移される

(1)	①	へいじょう 平城
	②	東大
(2)	奈良 時代	
(3)	ウ	
(4)	にほんしょき 日本書紀	

(1)(2) 平城京は、現在の奈良県奈良市につくられました。中国にならった本格的な都で、ごはんの目のようなつくりです。

(3) 聖武天皇は、仏教の力で国を守ろうと、国ごとに国分寺・国分尼寺、都に東大寺を建てました。エの正倉院は東大寺にある倉で、聖武天皇の身の回りの品などがおさめられています。

(4) 朝廷の命令でまとめられました。神話や伝承をもとにしていますので、すべてが事実ではありません。

2 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

9世紀になると、( ① )の子孫である藤原氏が、朝廷で大きな力をもって政治を行うようになりました。なかでも11世紀の初めに政治を動かした藤原( ② )は、「この世をば [ ] とぞ思うもち月の欠けたることもなしと思えば」という歌をよみました。

(1) ( ) にあてはまる人物名を、次のア～カから1つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 聖徳太子    イ 中臣鎌足    ウ 小野妹子  
エ 頼通    オ 道長    カ 道真

(2) 下線部の理由を、次のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 摂政や関白の位についた。  
イ 中国の皇帝から王とみとめられた。  
ウ まじないをよくして人々の心をつかんだ。

(3) [ ] にあてはまることばを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア ほとけ    イ つらい    ウ わが世    エ 神世

(1)	①	イ
	②	オ
(2)	ア	
(3)	ウ	

(1) ① 中臣鎌足は大化の改新で活やくし、のちに藤原という姓をたまわりました。

② 藤原道長は4人のむすめを天皇のきさきにし、生まれた子を次の天皇にして、自分は天皇の祖父として政治を動かしました。

(2) イは古墳時代の大和朝廷の大王、ウは邪馬台国の卑弥呼のことです。

(3) この世は自分の思い通りである、という満足な気持ちをよんだ歌です。

